



子どもを守る 広野町見守り隊

全国各地で児童・生徒が被害者となる凶悪犯罪があとを絶ちません。こうした中、広野町では、児童・生徒を不審者等による犯罪から守るため、登下校時等における安全を確保することを目的に、学校・保護者・諸団体および地域住民の協力を得て、4月1日から「犯罪から子どもを守る広野町見守り隊」（通称「広野町見守り隊」）を発足させました。

そこで今回は、「広野町見守り隊」の趣旨に賛同し、日々ご協力いただいている方に、活動を始めた動機などについて伺いました。



広野町見守り隊 隊長
鈴木 崇広さん
下浅見川・桜田

して子どもを送り出せる環境づくりが早急に必要なだと考えていました。これからも地域のみなさま1人ひとりのお力添えをいただきながら「広野町見守り隊」の活動の輪を広げて行きたいと思えます。

昨今の児童・生徒が登下校時に犯罪に巻き込まれたというニュースを耳にするたびに「私たちの町では大丈夫なのだろうか？」という不安を覚えるのは私だけではないと思います。そんな折、町で「犯罪から子どもを守る広野町見守り隊」が発足するという話を聞き、少しでも力になればと思い、協力することにしました。

私自身、子どもを持つ親として、安心



石井 徳久さん
広洋台・1丁目

最近、下北迫方面から歩いて登校する小学生の後に自転車を押しながら歩く老人を見かけます。「広野町見守り隊」の石井徳久さんです。

石井さんは、雨の日などを除いて毎朝ボランティアで国道6号線の下北迫字下大吹付近から総合グラウンドまで、小学生の子どもたちを見守っています。

石井さんは、所属する老人会から見守り隊の帽子と腕章を託されたのがきっかけで、それ以来「子どもたちを危険から守るため、自分なりにできること」として、今の活動を続けているそうです。

活動をはじめてからの感想を伺ってみると、「自分は車の運転をしないので雨の日にはできないが、健康なので運動だと思っただけで毎日子どもたちの見守り続けている。最近では中学生も向こうからあいさつしてくれるようになった。とても嬉しいものだ」と笑顔でおしゃっていました。

77歳と高齢にもかかわらず、長い坂道で自転車を押しながら歩く石井さんに、頭が下がりました。



子どもたちの後方を歩く石井さん

編集後記

サッカー・ワールドカップでジーコジャパンが敗退した。Jヴィレッジの町を襲ったサッカー旋風も終わりを告げるのか。しかし、わが町には元気な17人のJFAアカデミーの少年たちが残る。8年後、12年後に夢が膨らむ。

わが町の議会も来春の改選には2議席減となり、議長を監督に「議会イレブン」が東西走することになる。

そのチーム編成をするのは町民のみなさんです。

今、議会はまさにスリム化、合理化を検討中です。

次号以降の議会だよりにご期待ください。（猪狩）

広報委員会

- 議長 坂本 紀一
- 委員長 猪狩新一郎
- 副委員長 塩 史子
- 委員 中津 伸一
- 委員 渡邊 正俊

次の定例会は9月です